

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

|   | 視点           | 4年間の目標<br>(令和2年度策定)   | 1年間の目標   | 取組の内容  |  | 校内評価 |          | 学校関係者評価<br>(月 日実施) | 総合評価 (月 日実施) |       |
|---|--------------|---|--|--|--|------|----------|--------------------|--------------|-------|
|   |              |   |  | 具体的な方策   | 評価の観点  | 達成状況 | 課題・改善方策等 |                    | 成果と課題        | 改善方策等 |
| 1 | 教育課程<br>学習指導 | ①専門性を追究した教育活動を充実させる。<br>②商業と工業の連携による特色ある教育活動を実践する。<br>③学力及び技術技能の基礎力を確実に定着させる。<br>④学習指導方法の改善を推進する。           | ①③基礎学力の定着を図るとともに、共通教科及び専門教科の発展的学習を充実させ、上級の資格取得を目指す。<br>③スタディサプリの活用により、基礎学力の定着及び家庭学習の習慣化を図る。<br>④「主体的・対話的で深い学び」を実践する。 | ①計画的に特別講習を実施するなど、生徒のモチベーションの高揚及び資格取得率向上につながる指導を充実する。<br>①③スタディサプリの活用を指導・支援し、生徒の基礎学力の定着及び家庭学習の習慣化に結び付ける。<br>④電子黒板の活用等 ICTの活用を含めた授業改善により、「主体的・対話的で深い学び」を実践する。    | ①日商簿記3級、計算技術検定・情報技術検定の合格率は向上したか。上級の資格検定の受検者は増加したか。<br>③スタディサプリの分析等により、家庭学習の取組状況が向上したか。<br>④「生徒による授業評価」結果の分析等により、課題について自分の考えをまとめたり、他者の考えを知る機会が増えたか。                   |      |          |                    |              |       |
| 2 | 生徒指導<br>・支援  | ①基本的な生活習慣の確立を図る。<br>②社会人基礎力と豊かな人間性を育む。<br>③主体性を育み自立した人間の育成を図る。<br>④教育相談体制の充実を図る。<br>⑤学校行事や特別活動及び部活動の活性化を図る。 | ①②基本的な生活習慣を確立するとともに、自己肯定感を育む。<br>④多様な生徒に対応するため、SC及びSSWを活用し外部機関との連携を図るとともに、校内組織を充実させる。<br>⑤部活動加入率の向上を図る。              | ①②生徒会、保護者及び各種機関と連携した指導を行い、自己肯定感の涵養につなげる。<br>④生徒情報の共有を徹底するとともに、SCや外部機関等と連携した教育相談体制を整備して生徒支援を充実させる。<br>⑤入学当初の部活動紹介等の企画により加入率の向上を目指すとともに、感染症対策に配慮した上で特色ある学校行事を行う。 | ①②組織的・継続的な指導により、次の事項が達成できたか。<br>○挨拶をする生徒が増加したか。遅刻防止指導を年5回実施し、遅刻の回数が減少したか。<br>○服装・頭髪指導対象の人数が減少したか。<br>④本校の教育相談体制を生徒及び保護者等に周知し、教育相談を活用しやすい環境を整備できたか。<br>⑤部活動加入率が向上したか。 |      |          |                    |              |       |
| 3 | 進路指導<br>・支援  | ①实际的・体験的学習の機会拡大と充実を図る。<br>②勤労観や公共心、社会奉仕の精神を涵養する。<br>③進路相談体制の充実を図る。  | ①学年段階におけるキャリア教育の充実を図る。<br>②進路未決定者をゼロにする。<br>③進学・就職にかかる事故防止を徹底する。   | ①外部業者を活用するなど効果的な進路ガイダンスを実施する。<br>②進路ガイダンス等とおし、生徒自身の進路について真剣に考える態度を養い、個々に指導・支援を行う。<br>③チェックシートを見直し、複数によるチェック体制を徹底する。  | ①②生徒の主体的な進路実現に向けての取組が向上したか。またその結果として進路未決定者をゼロにすることができたか。<br>③進路にかかる事務処理において、事故ゼロを実現できたか。   |      |          |                    |              |       |

|   | 視点           | 4年間の目標<br>(令和2年度策定)  | 1年間の目標  | 取組の内容   |   | 校内評価 |          | 学校関係者評価<br>(月 日実施) | 総合評価 (月 日実施) |       |
|---|--------------|--|---|---|---|------|----------|--------------------|--------------|-------|
|   |              |  |   | 具体的な方策  | 評価の観点   | 達成状況 | 課題・改善方策等 |                    | 成果と課題        | 改善方策等 |
| 4 | 地域等との協働      | <p>①学校運営協議会制度を活用した、地域との協働を図る。</p> <p>②広報活動を充実させ情報の発信を推進する。</p>   | <p>①地域やOB等の外部講師の活用した教育活動を実践する。</p> <p>②ホームページによるタイムリーな情報発信を行う。</p> <p>②中学生及びその保護者に向けたPR活動を充実させる。</p>                              | <p>①②3学年の「課題研究」において、地域やOB、連携企業との協働をすすめる。</p> <p>②ホームページの更新をこまめに行うとともに、本校の魅力を発信するデザインを工夫する。</p> <p>③本校の教育活動について、中学生及びその保護者だけでなく、中学校へのPR活動も充実させる。</p> | <p>①②生徒の学びに地域やOB等が関わり、成長を促すことができたか。</p> <p>③入学志願者倍率が前年度より上昇できたか。</p>  |      |          |                    |              |       |
| 5 | 学校管理<br>学校運営 | <p>①ミッションに沿った学校経営の推進を追究する。</p> <p>②安全安心な学習環境を維持構築する。</p> <p>③教育公務員としての規範意識を醸成するとともに、風通しの良い職場環境を構築する。</p> <p>④働き方改革の視点に立ち長時間労働の解消に取り組む。</p> | <p>①商業教育と工業教育の連携強化により、職業人の育成を目指す。</p> <p>②スチューデントファーストの視点に立った教育活動を実践する。</p> <p>③不祥事防止を徹底する。</p> <p>④職場環境や業務内容を見直し、働き方改革に取り組む。</p> | <p>①総合ビジネス科・総合技術科両科の協働的な学習活動を通して相互理解を深め、職業人の育成につなげる。</p> <p>②生徒が安全安心に学校生活を送ることができる環境づくりを推進する。</p> <p>④会議方法を見直し、時間の削減やペーパーレス化をすすめ、業務の効率化を目指す。</p>    | <p>①生徒が商業と工業のそれぞれの教育に対する理解を深め、職業人として成長できたか。</p> <p>②安全安心な学習環境の維持構築が実現できたか。</p> <p>④会議時間を前年度比3割程度削減できたか。</p> |      |          |                    |              |       |